

第11回食育推進全国大会開催結果について

●開催の経緯

21世紀における我が国の発展のためには、全ての国民、特に子供たちが豊かな心と健やかな身体を育むことが重要であり、様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められています。

平成17年7月に施行された食育基本法に基づき作成された食育推進基本計画では、毎年6月を「食育月間」として定めるなど、食育を国民運動として推進することとしています。

以上を踏まえ、食育推進全国大会は、食育月間における中核的行事として、食育に対する国民の理解を深めるとともに食育の取組への積極的な参加を促し、もって国民の健全な食生活と豊かな人間形成に大きく寄与することを目的として開催しています。

本年の「第11回食育推進全国大会」は、平成28年 6月11日(土)、12日(日)に福島県郡山市のビッグパレットふくしまにおいて農林水産省、福島県、第11回食育推進全国大会福島県実行委員会の主催により開催しました。

北海道・東北ブロックでの初めての開催となること、復興のあゆみを全国に感謝を込めて伝えていくことを盛り込んだ大会テーマや、福島を元気にするための地域食文化の紹介・体験型の食育の紹介等の企画が評価され、内閣府において平成27年2月に開催地として決定したものです。

なお、内閣の重要施策に関する総合調整等に関する機能の強化のための国家行政組織法等の一部を改正する法律(平成27年法律第66号)の施行に伴い、食育推進全国大会に関する業務を含む内閣府における食育推進に関する業務は、平成28年4月1日以降、農林水産省において担当することになりました。

●開催にあたっての準備

本大会を実施するにあたり、農林水産省と福島県の連携は勿論、関係機関・団体の皆さまに多大なご協力をいただきました。

特に福島県では、平成27年8月26日に「第11回食育推進全国大会福島県実行委員会」を立ち上げ、イベント企画、出展者募集、大会告知等の大会実施の重要な役割を担っていただきました。

また、ブース出展者を募集したところ139団体131ブースの出展応募があり、それぞれ団体・企業が短い準備期間の中で、出展にご協力をいただきました。

広報については、県内報道機関等のご協力により、多様なメディア媒体による広報を実施していただき、積極的かつ効率的な事前 PRを行うことができました。

●大会の概要

大会テーマを「チャレンジふくしま！おいしくたのしく健康長寿～復興のあゆみ。全国のみなさまへ感謝の気持ちを込めて～」とし、全国でも3番目に広い県土を持つ福島県のある郷土の食文化や食材を県内外の方に広く知っていただくとともに、食を通じて子供も大人も地域も産業も元気な福島の姿を様々なイベントを通じて全国に発信しました。

メイン会場をビッグパレットふくしま(郡山市)とし、大会初日(11日)には、コンベンションホールに於いて森山裕農林水産大臣、内堀雅雄福島県知事等の出席のもと開会式を行いました。最初にオープニングイベントとして、福島県いわき総合高等学校 家庭クラブ フラダ

ンスチーム「アロヒミノアカ」によるフラダンスおよび、郡山市立大島小学校合唱部による合唱により幕を開け、主催者挨拶、来賓祝辞ののち、食育推進ボランティア表彰を行いました。

午後には、「和食給食応援団(料理人: 笠原将弘氏他)」によるキックオフイベント、食育推進ボランティア表彰審査委員長の足立己幸氏によるボランティア表彰受賞者とのシンポジウムを開催。さらに、コーディネーターに西居 豊氏(合同会社 五穀豊穰 代表プロデューサー)、パネリストに柿沢安耶(野菜スイーツ専門店「パティスリー ポタジエ」オーナーパティシエール)、設楽哲也氏(特定非営利活動法人 OYAKODOふくしま理事)、藤本智子氏(ミソガール、ジャパン味噌プレス編集長)、櫻庭英悦食料産業局長(農林水産省) を迎えてシンポジウムを開催しました。

大会2日目(12日) は、コンベンションホールにおいて、尾木直樹氏(教育評論家・法政大学教授) による基調講演、辰巳琢郎氏(俳優) による特別講演を開催しました。

また両日を通じて、ビッグパレットふくしま3階中会議室・小会議室において食育関連団体等による「講演会」「シンポジウム」「ワークショップ」を開催しました。

多目的展示ホールでは、食育に取り組む103ブースによる食育展示を行い、活動等を記したパネル展、子供向けの体験コーナー、著名な料理人による調理実演や試食提供など、各ブースごとの特色豊かな企画が展開されました。さらには、多目的展示ホール内にステージ・キッチンステージを設け、団体・企業による食に関するイベント等を実施しました。

屋外展示会場には、29のさまざまな飲食物販ブースを設け、地元福島の県産特産品、郷土料理等を来場者に提供しました。

その他、郡山駅前広場ではサテライト会場として、開催期間に合わせたイベントや物販コーナーを実施しました。

大会期間中は、ビッグパレットふくしまを起点に、「JR郡山駅」「郡山カルチャーパーク臨時駐車場」間を無料シャトルバスの運行を行い、多くの来場者にご利用いただきました。

さらに、大会関連イベントとして、福島県の復興のあゆみをご覧ください、いわきコース・会津コースに分かれた「ふくしまバスツアー」も開催し、県内外からたくさんの方に参加いただきました。

●終わりに

本大会は2日間で約26,200人(郡山駅前サテライト会場含む) の皆さまにご来場をいただきました。

大会の最後は、コンベンションホールに於いて、鈴木正晃福島県副知事等の出席のもと、閉会式を行いました。はじめに、岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組による太鼓演奏があり、主催者挨拶ののち、第11回食育推進全国大会「福島県の大会イメージ」デザイン表彰がありました。続いて郡山女子大学附属高等学校 合唱部による合唱披露があり、次期開催地の繁定昭男岡山副市長の挨拶と引き継ぎをもって閉会しました。

会期中、メイン会場のビッグパレットふくしま、サテライト会場の郡山駅前広場では様々なイベントを実施し、ふくしまの食育を県内外に発信することができました。多くの来場者にはおいしく楽しく食を学んでいただいたことで、当初の目的である食育への関心を高めることを達成し、盛会のうちに幕を閉じました。